化学変化と質量の比 できる質量・結びつく酸素（8問）　版Eの答え

※ 酸化物の質量＝金属＋酸素。銅なら 4：1：5、マグネシウムなら 3：2：5 の比を先に書いてから計算します。

---

(1) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 23.2 g を完全に酸化させると、

酸化銅は何 g できるか。

＝ 29 g

(2) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 12.9 g と結びつく酸素は何 g か。

＝ 8.6 g

(3) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 2.7 g を完全に酸化させると、

酸化マグネシウムは何 g できるか。

＝ 4.5 g

(4) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 6.4 g を完全に酸化させると、

酸化銅は何 g できるか。

＝ 8 g

(5) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 9.6 g と結びつく酸素は何 g か。

＝ 6.4 g

(6) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 16.5 g を完全に酸化させると、

酸化マグネシウムは何 g できるか。

＝ 27.5 g

(7) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 6.3 g と結びつく酸素は何 g か。

＝ 4.2 g

(8) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 8.8 g と結びつく酸素は何 g か。

＝ 2.2 g